

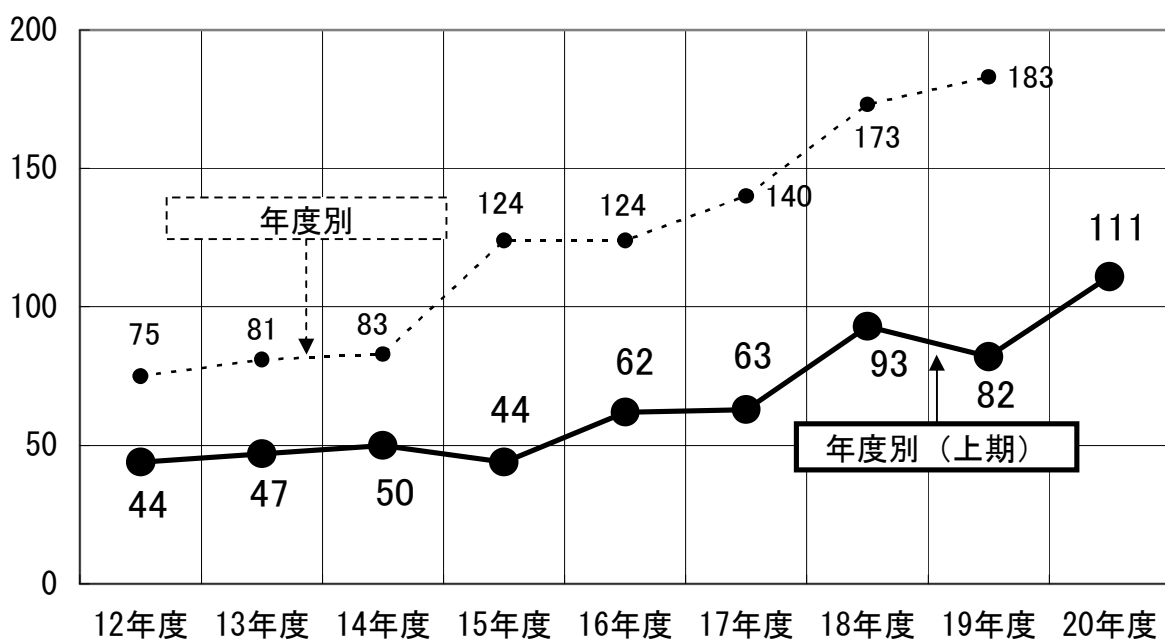
鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (平成20年度上期／大手民鉄16社)

社団法人日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における平成20年度上期（4月～9月）6ヶ月間に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数の集計を行いました。

暴力行為の発生件数は111件（対前年度+29件）となり、平成18年度上期の93件を上回って、平成12年度の調査開始以降、過去最悪の件数となっています。

暴力行為が発生する状況としては、木曜日から土曜日の週末にかけて、22時以降、飲酒を伴った場合に多発する傾向があり、年代別では幅広い年代に分布しています。

年度別発生件数(上期)



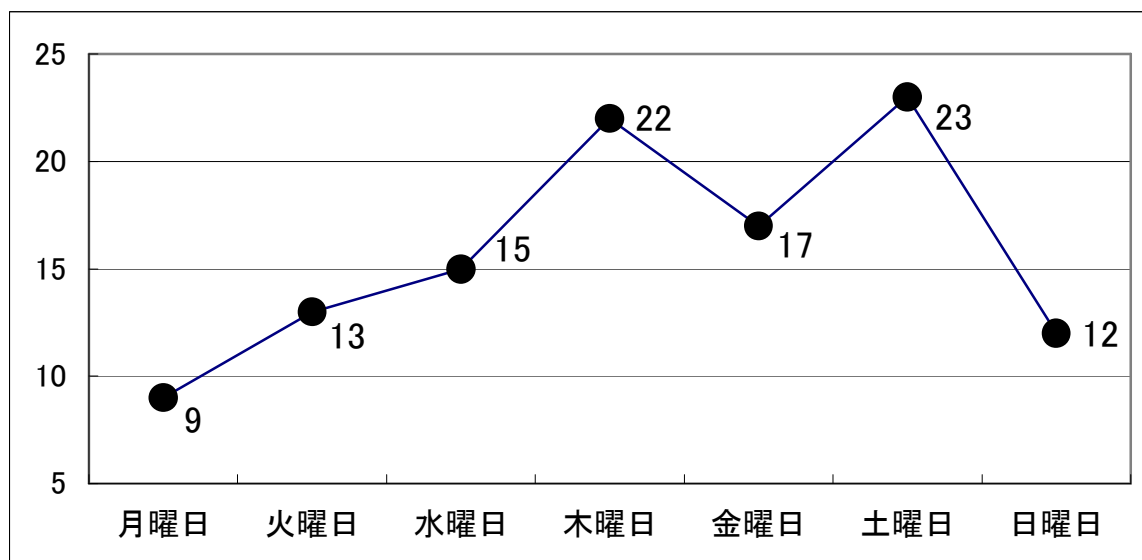
（ご参考）以下の項目の「発生状況別件数・具体的事例等（詳細）」の集計結果を別紙にて紹介しています

- | | | | |
|----------|--------------|----------|---------|
| 1. 発生曜日 | 2. 発生時間帯 | 3. 発生場所 | 4. 発生契機 |
| 5. 加害者年齢 | 6. 加害者の飲酒の有無 | 7. 具体的事例 | |

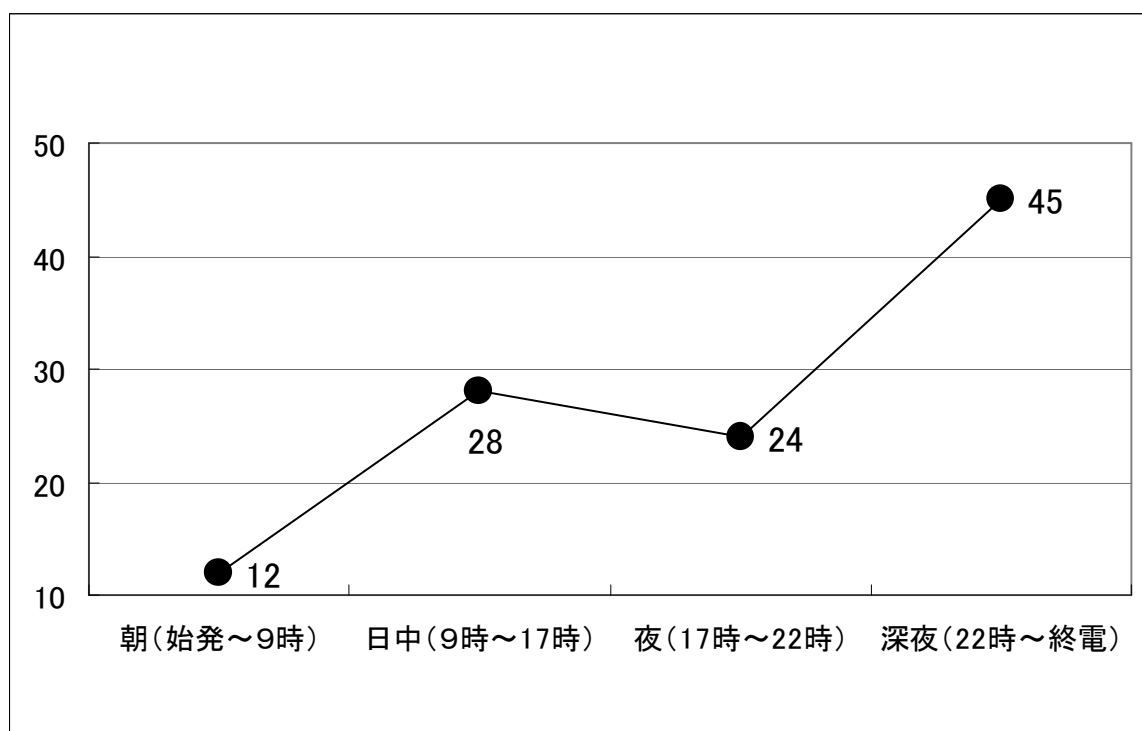
本日、この資料は下記の記者クラブにお届けしています
国土交通記者会・ときわクラブ・東海交通研究会・青灯クラブ・近畿電鉄記者クラブ

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体事例等（詳細）

1. 曜日別 発生件数



2. 時間帯別 発生件数



3. 場所別 発生件数

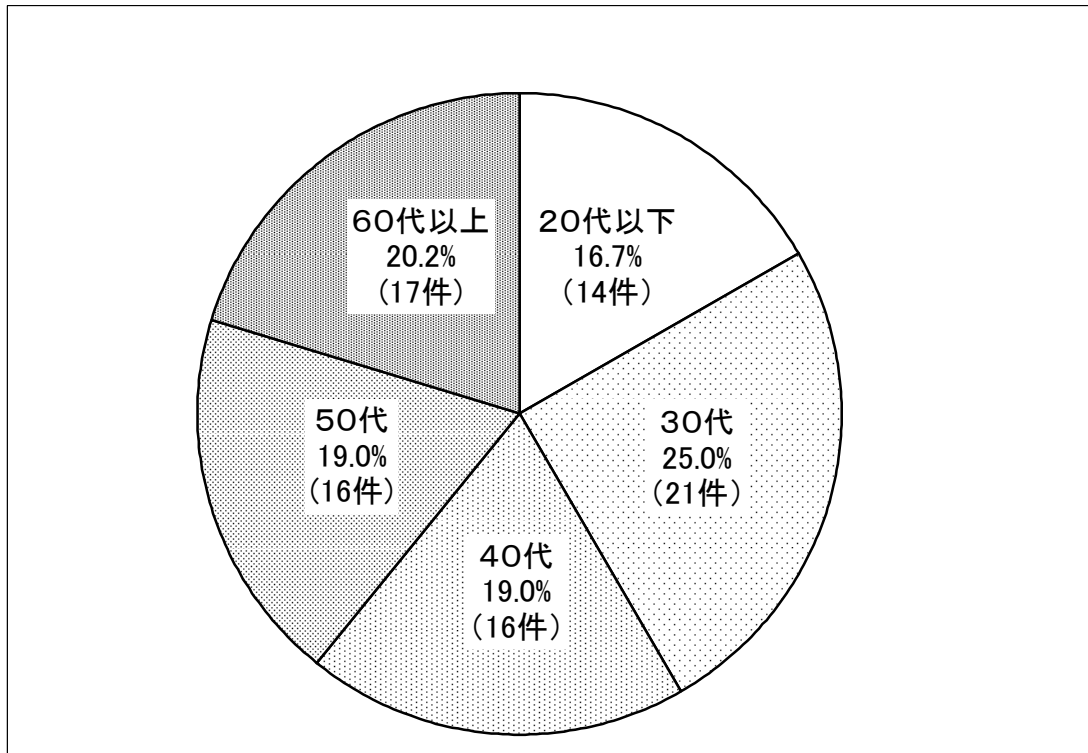
ホーム	改 札	列車内
57件	27件	14件

4. 契機別 発生件数

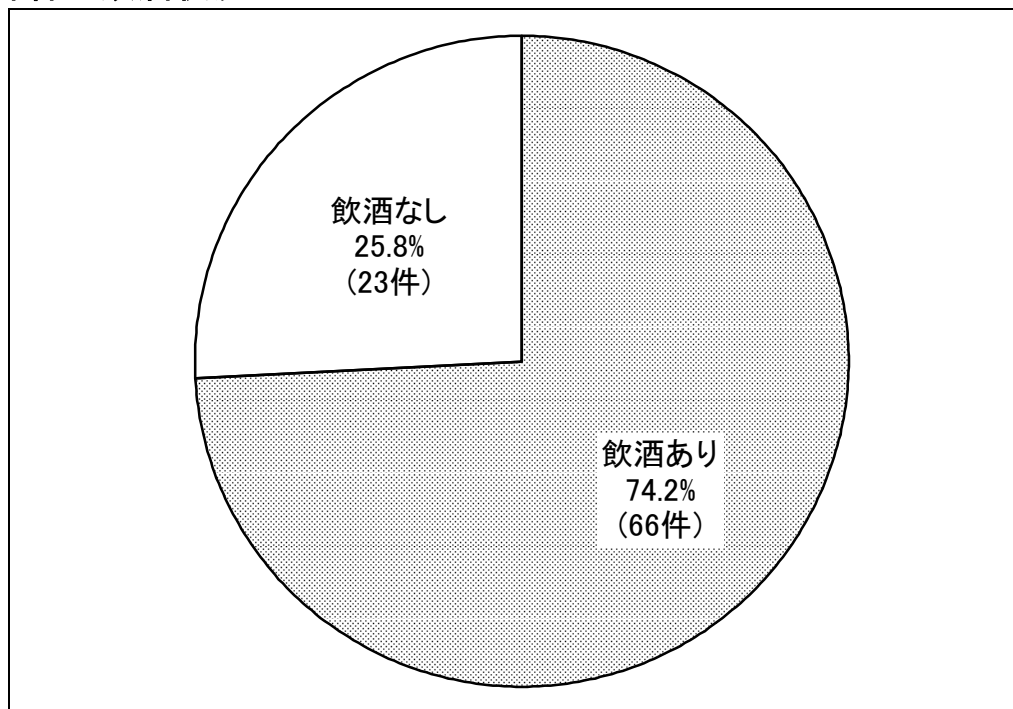
理由なく突然に	酩酊者に近づいて	迷惑行為を注意して	けんかの仲裁
28件	23件	20件	18件

※発生状況の詳細が判明しているケースのみ集約したものを図表化しており、発生総数は項目ごとに異なります。

5. 加害者年齢



6. 加害者の飲酒状況



※発生状況の詳細が判明しているケースのみ集約したものを図表化しており、発生総数は項目ごとに異なります。

7. 具体的事例

【事例1】

曜日	土曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	不明	飲酒	あり

駅員は改札口でお客様からお忘れ物の照会を受けたため、お忘れ物検索システムで検索を行なったものの発見できなかった。駅員がその旨を説明したところ、お客様は強い口調で怒り出し再検索するよう言われた。駅員は再検索を行ったものの見つからず、その旨を説明したが、加害者は納得せず駅員の左頬を殴った。（休業1日）

【事例2】

曜日	月曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	列車内
契機	理由なく突然に	年齢	70歳代	飲酒	なし

車掌が、車内のお客様全員に降車をご案内しているにもかかわらず降車しないお客様に対して降車を願い出たところ、加害者は突然怒りだし、車掌の右頬を拳で殴った。

【事例3】

曜日	木曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	列車内
契機	酩酊者に近づいて	年齢	30歳代	飲酒	あり

駅員が当駅止まりで回送となる列車内に寝ていた酔客を起こし、倒れないよう支えながら車外へ降ろそうとしたが、目覚めた加害者は、突然持っていた傘で、何度も駅員の体を殴打した。さらに、制止しようとした同駅員の制服のポケットを破った。（全治14日）

【事例4】

曜日	火曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	けんかの仲裁	年齢	40歳代	飲酒	あり

A駅員がホーム上でお客様同士のトラブルを発見し、止めに入った際に加害者が暴れたため、額を負傷した。それを見て、制止しようとした別のB駅員も右腕を負傷した。また、事務所に誘導した後も加害者は暴れ続け、それを制止しようとした別のC駅員も左肩を負傷し、3名の駅員が負傷した。（全治7日・全治7日・全治14日）